

C Channel

2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月14日

上場会社名 C Channel 株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7691 URL <https://corp.cchan.tv/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）森川 亮
 問合せ先責任者 （役職名）取締役COO （氏名）丹羽 歩 TEL 03 (6453) 6893
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	637	42.5	65	—	55	—	56	—
2026年3月期第1四半期	447	9.7	△33	—	△38	—	△39	—

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 60百万円（—％） 2026年3月期第1四半期 △36百万円（—％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	1.81	—
2026年3月期第1四半期	△1.36	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	1,369	592	43.3
2026年3月期	1,322	534	40.2

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 592百万円 2026年3月期 531百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		—	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	2,687	19.7	56	24.2	50	63.1	47	51.8
								1.53

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	31,078,600株	2026年3月期	31,078,600株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	一株	2026年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	31,078,600株	2026年3月期1Q	28,722,000株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資の拡大等を背景に緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、物価上昇の継続や中国経済の先行き懸念やウクライナ・中東等の地政学的リスク、米国関税の政策運営等、わが国経済に与える影響は非常に不透明な状況であります。

こうした環境のもと、当社グループが所属しておりますインターネット広告市場は、前年比110.8%の4兆459億円（株式会社電通「2025年 日本の広告費」）となり、継続的に成長を続けております。

このような経営環境のもと、当社グループは「誰もが自分らしく輝ける機会を創る」というビジョンのもと「インフルエンサー事業」及び「海外事業」の2つの基幹事業の成長継続、収益構造の改善などに取り組んでまいりました。その中で、既存サービスに加え、企業とインフルエンサーを結びつける「Lemon Square」のサービス展開を拡大させることで、さらなる成長に注力してまいりました。

当第1四半期連結累計期間における連結業績につきましては、売上高は637,408千円（前年同期比42.5%増）、営業利益は65,334千円（前年同期は営業損失33,791千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は56,360千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失39,075千円）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

（インフルエンサー事業）

インフルエンサー事業は、引き続き化粧品業界を中心とした広告需要が堅調に推移しております。そのような環境下で、当社はインフルエンサーマーケティングサービスへの事業集中を進め、サービスの選択と集中を図ってまいりました。その結果、当社が注力するインフルエンサーマーケティングソリューション「Lemon Square」関連の売上は順調に拡大し、前年同期比50%増となりました。特に強化している韓国と中国のクライアントの売上につきましても順調に推移しました。また、新規事業として開始したTikTok Shop事業において、当社が有するインフルエンサーネットワークを活用し、ライブショッピング領域での事業展開を推進してまいります。

この結果、外部顧客への売上高は451,323千円（前年同期比46.9%増）、セグメント利益は135,873千円（前年同期比112.5%増）となりました。

（海外事業）

海外事業は、中国においては越境EC及びSNSマーケティングの運営の強化に取り組んだ結果、越境ECの販売が順調に推移し、売上が大きく増加したものの、費用が増加したことで利益は減少となりました。また、インドネシアはインフルエンサー広告の更なる拡大に取り組んだ結果、売上・利益ともに増加となりました。

この結果、外部顧客への売上高は186,084千円（前年同期比32.8%増）、セグメント損失は4,500千円（前年同期はセグメント利益5,768千円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

（流動資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は1,212,560千円で、前連結会計年度末に比べ47,140千円増加しております。主な変動要因は、現金及び預金230,720千円の増加、売掛金169,483千円の減少などです。

（固定資産）

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は156,854千円で、前連結会計年度末に比べ163千円増加しております。主な変動要因は、ソフトウェア787千円の増加、有形固定資産688千円の減少などです。

（流動負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は445,224千円で、前連結会計年度末に比べ15,892千円増加しております。主な変動要因は、1年内返済予定の長期借入金85,700千円の増加、1年内償還予定の社債25,900千円の減少、支払手形及び買掛金18,687千円の減少などです。

（固定負債）

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は331,663千円で、前連結会計年度末に比べ26,821千円減少しております。主な変動要因は、長期借入金19,743千円の減少、社債7,000千円の減少などです。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は592,527千円で、前連結会計年度末に比べ58,233千円増加しております。変動要因は、利益剰余金56,360千円の増加、為替換算調整勘定4,372千円の増加、新株予約権2,500千円の減少です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月15日に公表した業績予想から変更はありません。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は順調に推移しておりますが、広告サービスについては四半期ごとに業績が変動することが見込まれており、第2四半期以降の業績には不確実性があることから、現時点では業績予想を据え置いております。

なお、今後公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示してまいります。

(注) 業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	550,452	781,172
売掛金	493,133	323,650
商品及び製品	59,896	52,968
仕掛品	11,013	5,030
貯蔵品	25	27
その他	50,997	49,812
貸倒引当金	△99	△99
流動資産合計	1,165,419	1,212,560
固定資産		
有形固定資産	29,414	28,726
無形固定資産		
ソフトウェア	106,639	107,426
無形固定資産合計	106,639	107,426
投資その他の資産		
その他	40,106	40,171
貸倒引当金	△19,469	△19,469
投資その他の資産合計	20,637	20,702
固定資産合計	156,691	156,854
資産合計	1,322,110	1,369,415

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	89,222	70,534
短期借入金	85,911	77,283
1年内返済予定の長期借入金	78,972	164,672
1年内償還予定の社債	49,900	24,000
未払金	55,850	59,568
未払法人税等	635	—
その他	68,840	49,166
流動負債合計	429,332	445,224
固定負債		
社債	7,000	—
長期借入金	328,032	308,289
資産除去債務	18,639	18,667
繰延税金負債	4,812	4,706
固定負債合計	358,484	331,663
負債合計	787,816	776,887
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	2,172,837	2,172,837
利益剰余金	△1,646,146	△1,589,786
株主資本合計	536,691	593,051
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△4,897	△524
その他の包括利益累計額合計	△4,897	△524
新株予約権	2,500	—
純資産合計	534,294	592,527
負債純資産合計	1,322,110	1,369,415

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	447,282	637,408
売上原価	165,694	290,610
売上総利益	281,587	346,797
販売費及び一般管理費	315,379	281,463
営業利益又は営業損失(△)	△33,791	65,334
営業外収益		
受取利息	10	10
受取配当金	2	3
その他	191	1
営業外収益合計	204	15
営業外費用		
支払利息	2,334	4,989
為替差損	1,978	4,447
その他	697	701
営業外費用合計	5,011	10,138
経常利益又は経常損失(△)	△38,598	55,211
特別利益		
新株予約権戻入益	—	2,500
特別利益合計	—	2,500
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△38,598	57,711
法人税、住民税及び事業税	582	1,456
法人税等調整額	△106	△106
法人税等合計	476	1,350
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△39,075	56,360
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△39,075	56,360

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△39,075	56,360
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,363	4,372
その他の包括利益合計	2,363	4,372
四半期包括利益	△36,712	60,733
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△36,712	60,733

- (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)
該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	インフルエンサー事業	海外事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	307,147	140,134	447,282	—	447,282
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	307,147	140,134	447,282	—	447,282
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	30,678	30,678	△30,678	—
計	307,147	170,812	477,960	△30,678	447,282
セグメント利益	63,929	5,768	69,697	△103,489	△33,791

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△103,489千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益(△損失)と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	インフルエンサー事業	海外事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	451,323	186,084	637,408	—	637,408
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	451,323	186,084	637,408	—	637,408
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	327	327	△327	—
計	451,323	186,412	637,735	△327	637,408
セグメント利益又は損失	135,873	△4,500	131,373	△66,038	65,334

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△66,038千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益(△損失)と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、「メディア事業」としていた報告セグメント名称を「インフルエンサー事業」に変更し

ております。なお、当第1四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間における四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、当第1四半期連結累計期間にかかる減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	9,113千円	10,475千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。